



私のいちおし本 「走れメロス」

太宰 治作



選者：肝付町立内之浦小学校 3年生 石原 法道

メロスはすごいと思いました。わるい王様だからといって、「おれがたおしてやる」と思うのは勇気のいることです。次に、セリヌンティウスはとてもいいお友だちだと思いました。ころされてしまうかもしれない人質をひきうけるのは、ぼくだったらこわいので、ことわってしまうかもしれません。

ぼくは、この本を読んで、友じょうの大切さを感じました。ぼくにも大切なお友だちがいます。いっしょによく遊ぶお友だちです。ぼくも、メロスみたいにお友だちとの約束をちゃんと守れる人になりたいです。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

{一般}

夏の騎士

百田 尚樹 著

あらから 31 年。ぼくが今もどうにか人生の荒波を渡っていけるのは、あの頃手に入れた勇気のおかげかもしれない。昭和最後の夏に経験した、謎をめぐる冒険、友情、そして恋を描いた、百田版「スタンド・バイ・ミー」。



{児童}

たからもののあなた

まつおか りかこ 作・絵

お仕事が忙しいおかあさんと もっと一緒にいたいフウ。泣きだすフウをおかあさんはぎゅっと抱きしめて…。子供に「大好きだよ」と言葉で伝えることの大切さを描いた絵本。



その他の新刊

{一般} 女はいつも四十雀 林真理子 著
クジラアタマの王様 伊坂 幸太郎 著

{児童} 恋するいきもの図鑑 今泉 忠明 監修
100年ハチミツのあべこべ魔法
あんびるやすこ 作・絵

【文化センター図書室】

{一般}

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっぴりブルー ブレイディ みかこ 著

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜのイカした「元・海辺中学校」だった。ただでさえ思春期ってやつなのに、毎日が事件の連続だ。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子とパンクな母ちゃんの筆者は、ともに考え悩み乗り越えていく。



{児童}

しずかな魔女

市川 朔久子 作

中一の草子は、学校に行けなくなってしまい、今は図書館に通う日々を送っている。ある日、ふとしたことをきっかけに、初めてレファレンスを希望する。やがて司書の深津さんから渡されたのは「しずかな魔女」というタイトルの白い紙の束。ふたりの少女の、まぶしい、ひと夏の物語だった。物語を読み終えた草子の胸に、新しい何かが芽生える。それは小さな希望であり、明日を生きる力だった。



その他の新刊

{一般} クジラアタマの王様 伊坂 幸太郎 著
山小屋ガールの癒されない日々
吉玉 サキ 著

{児童} 火星のカレー 斉藤 洋作
みらいのえんそく ジョン・ヘア 著